

うちなだ 議会だより



ふるさと大使にプロ野球ロッテの岩下大輝投手 9月会議…… 2 - 3

コロナ禍決算額、歳入歳出とも過去最高 令和2年度決算…… 4 - 5

レポート…… 6 - 7

風力発電施設の方向性を示せ

決算特別委員会

白帆台町営住宅 子育て世帯に配慮し整備

総務産業建設常任委員会

新図書館の調査設計費とは何か 事業手法や複合施設化の検討だ 文教福祉常任委員会

内灘町公共施設管理公社特別委員会 中間報告…… 8

一般質問 6人が登壇…… 11 - 17

街かどインタビュー…… 18

Vol.147

令和3年〔2021〕

11月5日 発行

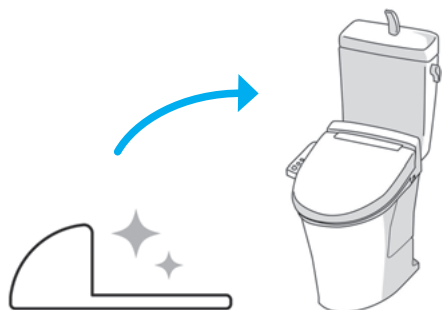


ロッテの岩下大輝投手

9月会議
7日～22日

中学校体育館トイレ 改修工事 735万円

体育館トイレを和式から洋式に改修するための調査設計及び工事費（築32年）。



学校給食施設改修工事 121万円

給食搬送用コンテナ洗浄後の水滴を圧縮空気で吹き飛ばす圧縮機を設置。



街路樹剪定、路肩除草 520万円

信号機や案内看板の視認性と交通安全及び車両等通行の安全確保



町立保育所に登降園管理 システムの導入 85万円

町立保育所2カ所の新型コロナウイルス感染症対策としてICカードを用いた管理システムの導入。



特別保育事業補助金 302万円

- 千鳥台幼稚舎の非常通報装置設置の補助 32万円。
- 私立保育園等の新型コロナウイルス感染症対策として人件費、衛生用品等の費用補助 270万円。

令和3年内灘町議会9月会議が7日から22日までの期間で開催された。令和3年度一般会計補正予算、条例改正、人事案件などを含む議案13件、令和2年度一般会計歳入歳出決算など決算認定7件を審査し、全て原案のとおり可決・認定した。また、請願1件を不採択、意見書3件を可決した。

ふるさと大使にプロ野球

町ふるさと大使委嘱



本町にゆかりのある岩下大輝選手（プロ野球千葉ロッテマリーンズ）に大使を委嘱。岩下選手は小学校4年生まで内灘町の学童野球チーム「内灘エンゼルス」に所属していた。今後、委嘱イベント開催やPR動画を作成のため100万円が補正され、町の魅力発信や知名度の向上を担うとともに地域振興を目指す。

公園維持管理費

350万円



松くい虫による松枯れ処理及び公園敷地外へ伸びた枝処理他樹木の剪定。

新図書館調査設計等の委託料 300万円

新図書館基本構想の具現化に向け、最適な事業手法等を検討するための調査設計委託。

いしかわプレ妊活健診委託料 43万円



子どもを望む夫婦が本格的な妊活に取り組む前に早期に必要な健診と健康教育を受けることができる健診費用を増額。



中村 壽氏
(再任 大根布)

教育委員会委員



向 貴代治氏
(新任 アカシア)

公平委員会委員

人事案件

契約相手 株式会社本田商会
納期限 令和4年1月31日

取得金額 744万4800円

消防団員用防火衣一式 94組

財産の取得

歳入歳出とも過去最高

歳 出
135億2196万円
(34.3%↑)

民生費
38億
9096万円
28.8%
(5.6%↑)

総務費
前年度比27億3574万円増
36億
7214万円
27.2%
(292.2%↑)

土木費
16億
5555万円
12.2%
(28.0%↑)

教育費
14億
127万円
10.4%
(7.1%↑)

借入金の返済
10億
2882万円
7.6%
(7.6%↑)

衛生費
7億
8240万円
5.8%
(8.4%↑)

農林水産業費 2.6%
3億5785万円 (19.3%↑)
2億6429万円 2.0% (8.6%↑)
2億1666万円 労働費・諸支出金 1.5% (124.5%↑)
1億3312万円 商工費 1.0% (62.8%↑)
1億11890万円 議会費 0.9% (242%↑)

町民一人あたりの費用
51万3052円/人
令和元年度 38万440円/人

このように使われました

民生費 14万7631円/人
障がい者・高齢者・児童への支援などに使ったお金

総務費 13万9328円/人
庁舎管理、戸籍、徴税、選挙、防災、特別定額給付金などに使ったお金

土木費 6万2815円/人
道路や公園整備などに使ったお金

教育費 5万3167円/人
小中学校の運営や生涯学習・体育振興などに使ったお金

借入金の返済 3万9036円/人
町の借入金を返済するために使ったお金

衛生費 2万9686円/人
保健事業やごみ収集、環境保全などに使ったお金

農林水産業費 1万3578円/人
農業振興、農業委員会運営、畑地かんがい施設維持補修などに使ったお金

消防費 1万28円/人
消防団活動、救急などに使ったお金

労働費・諸支出金等 8221円/人
雇用対策・労働関係基金などに使ったお金と積立金などに使ったお金

商工費 5051円/人
商工業の振興や観光事業などに使ったお金

議会費 4511円/人
議員報酬や議会活動に使ったお金

令和2年度決算に対する指摘事項

- 各種クーポン等のデジタル化を検討すべき
町民の消費喚起のため、各種クーポンや商品券等を発行しているが、今後はマイナンバーカード等を活用したデジタル化を見据えた発行方法を検討すべきである。その際、高齢者などデジタル機器に不慣れな方への対応も検討すること。
- サンセットブリッジ内灘のライトアップ設備の更新を図れ
サンセットブリッジ内灘のライトアップ設備の老朽化が進む一方で、更新に向けた進捗がない。補助事業等を活用し、カラーチェンジャーの設備等の早急な更新をすべきである。
- 総合公園の一体的整備を検討せよ
ほのぼの湯前の公園や道の駅を含めた一帯を、町のランドマーク的存在になるよう、整備を検討すべきである。
- GIGAスクール構想で整備したタブレットパソコンを有効に活用せよ
新型コロナウイルス感染防止対策等で学校が休校になった場合は、すぐにオンライン授業を実施できるよう、体制を整えておくべきである。また、更新時期を見据え、基金等の積み立てを検討すること。
- 風力発電施設の方向性を早急に出すべき
風力発電施設が停止して、長期間経過している。停止していることで、さらなる維持費等の発生が懸念される。早急に結論を出すべきである。また、国の補助制度の動向を注視するにしても、期限を設けるべきではないか。
- その他
- 空き家利活用事業補助金は活用しやすいよう制度を見直す
- 要保護児童対策の強化を検討すべき
- ファミリー・サポート・センターの充実を図るべき
- ふれあい農園の拡充を検討すべき
- 公園利用におけるマナー向上、ルールの整備を図れ
- 長寿祝券の見直しを検討せよ

の繰入金が含まれていることにより、歳入が歳出を上回っています。

令和2年度 決算



コロナ禍決算額、

令和2年度一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の7会計決算は、決算特別委員会に付託され、審査の結果、全ての決算を認定した。なお、各会計の認定審査の過程で、特に問題とされた11の項目（4ページ右枠掲載）を指摘した。

審査の意見

一般会計

右のグラフの（ ）内は、前年度比だが、アップ率が高い歳入の国庫支出金（国から交付されたお金）と歳出の総務費は、コロナ対策によるものである。総務費の増は、ほとんどが一人10万円の特別定額給付金によるものだが、その他の歳出科目にもコロナ対策事業費が含まれている。

全体的には歳入136億3277万円、歳出135億2196万円で、差し引き1億1081万円の黒字である。ただ、今年度の黒字決算は、コロナ禍による諸事業の中止や縮小の要因もあることに留意すべきである。

特別会計

特別会計の4事業の決算総額は、歳入47億7081万円、歳出48億2581万円で、差し引き5500万円の赤字である。赤字決算となったのは、厳しい財政運営となっている国民健康保険特別会計によるものだが、他の会計は黒字決算となった。

特に新エネルギー事業特別会計は、風力発電施設が故障により平成29年6月から運転を停止した状態である。当該施設を維持管理するだけでも多額の経費を要することから、早急に方針を示すべきである。

一般会計の貯金と借金

	一般会計	基金の計	一般会計	町債の計
平成30年度	11億2571万円		124億4978万円	
令和元年度	11億3869万円		127億9859万円	
令和2年度	16億837万円		130億3969万円	

特別会計決算

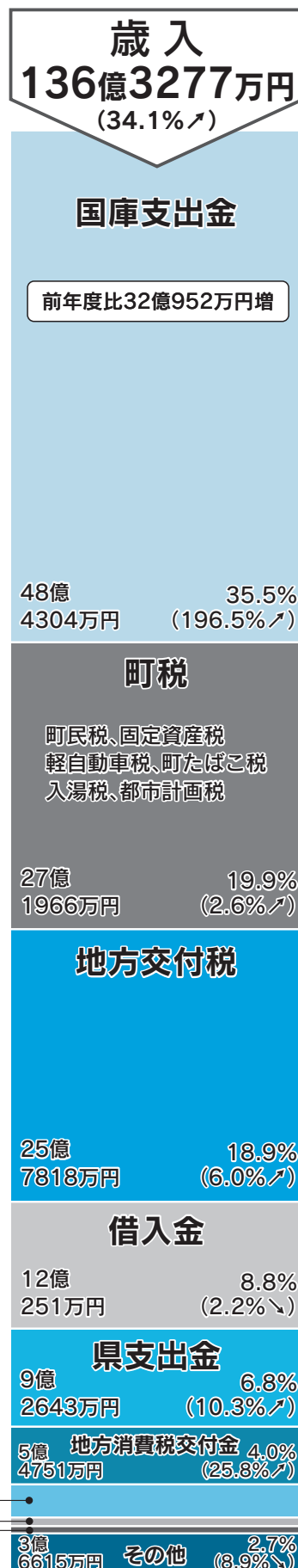
会計名	歳入	歳出
新エネルギー事業	1679万円	1679万円
国民健康保険	24億3486万円	25億469万円
後期高齢者医療	3億1992万円	3億1958万円
介護保険	19億9925万円	19億8476万円

水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収支	5億8604万円	5億5355万円
資本的収支	9020万円	2億8479万円

下水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収支	9億4296万円	9億2202万円
資本的収支	13億4854万円	15億2065万円



・歳入には、翌年度繰越事業のための財源や財政調整基金から
・（ ）内は前年度比

算別会 決特委

風力発電施設の方向性を示せ

風車は停止していることで劣化が進む。費用面も含め早めに検討すべきとの意見があり、町からは補助制度を活用して運営していきたいが、費用面も把握した上で、検討していくとの回答があった。また、放水路周辺の内灘大橋のライトアップ・パークゴルフ場・道の駅など総合的に考えるべきとの意見も出された。

ふれあい農園

問 ふれあい農園106区画の使用状況は。

答 全部埋まっている。

問 コロナ禍でニーズが高まっている。遊休農地などを活用して増やす考えは。

答 要望があれば考えたい。

空き家バンク

問 空き家バンクに登録された物件をリフォームした場合、空き家利活用事業補助金の制度が使える。賃貸での借主が行なうリフォーム工事に係る費用の一部を補助するものである。貸す側のリフォームにも補助する考えは。

答 検討したい。借りる方に助成するのが主旨。財産価値が上がるなど問題がある。他の自治体も調べる。

GIGAスクール

問 タブレットパソコン更新周期は。

答 5〜7年。

問 今回は、国の予算で導入されたが、更新を見越して積み立てする考えは。

答 今は考えていない。早めに要望する必要があるかもしれない。

決算特別委員会とは

議長と議会選出監査委員を除く10名の議員のうち5名で構成され、年1回設置される。

前年度に執行された事業が適切であったかを審査し、次年度に向け、改善を指摘する役割を果たす。



七田満男 米田一香
○生田勇人 ○土屋克之 夷藤満

どうなった？ 令和元年度決算の指摘事項

町ホームページをスマホ対応にすべき
令和3年度内にスマートフォンにも対応した町ホームページのリニューアルを行なう。

ケーブルテレビの番組内容の充実を図るべき
公共性が重視されるため、町民の自由な意見をそのまま取り入れにくい側面があるが、今後、さらなる内容の充実を図るため検討する。

ふるさと応援寄附金の返礼品は創意工夫すべき
令和2年度以降、農畜産物や北陸鉄道オリジナルグッズなど7事業者の商品を返礼品に追加している。

子育て支援策を積極的にPRすべき
移住促進のパンフレット等に子育て支援施策を掲載するなどしていく。

観光資源を活かし積極的な施策を展開すべき
内灘海岸や砂丘等を舞台としたアニメや海外の観光客にも注目をしてもらえよう企画を検討する。また、町の歴史や文化を活かした観光スポットづくりやツアー企画を検討する。

内灘海岸賑わい創出事業、内灘駅周辺整備事業の推進を図るべき
浜茶屋の撤去は、海岸法との整理が課

題となっており、引き続き国や県と協議する。

電車車庫や周辺道路、軌道敷など一体的に再編・整備する必要がある、具現化に向け、引き続き関係機関と協議する。

事業目的に使用されていない公共用地の有効利用を図るべき
駐車場としての需要があるか近隣の町会に確認したところ、現時点では需要がないとの回答だった。また、緑台浄水場跡地など水道事業遊休地は、費用対効果が見込める管理運営ができないか検討する。

国際交流事業の充実を図るべき
国際交流員や交流ボランティア団体と協力を図り、各種団体と連携した交流活動を実施する。

災害時のライフラインを守るため、自己水源の確保などについて検討すべき
かほく市大崎地区での水道管の連結について、かほく市と協議を始めている。

各種審議会委員報酬の増額を検討すべき
医師や有資格者は必要に応じ条例改正をしている。学識経験者は審議内容も考慮し、委員会ごとに検討する。

産業・建設・総務 常任委員会

白帆台町営住宅

子育て世帯に配慮し整備

◎清水文雄 ○南 守雄 生田勇人
磯貝幸博 米田一香

当委員会に付託された、令和3年度の一般会計、水道事業会計の補正予算・財産の取得（消防団員用防火衣一式）など審査し、すべて可決した。

また、都市整備部から、「白帆台町営住宅」第2期工事について報告があった。第1期の入居状況は、8月末現在で、全10戸のうち、平屋建て7戸と2階建て2戸が入居している。第2期工事での当初計画では、平屋建て6戸、2階建て5戸だが、平屋建ての入居希望が多かったことを踏まえ、平屋建て9戸、2階建て2戸とする形で整備を進めていきたいとの説明があった。

問 家賃はいくらか。

答 平屋建てで2万6100円。2階建てで2万9800円。

問 子育て世帯が、家賃を気にして平屋建てを選んでいけるとするなら、家賃を同額にできないか。

答 国で決まっについて、延床面積で違う。

白帆台県有地

問 県が所有する住宅用地を民間に売却する際には、地元の住宅建築事業者

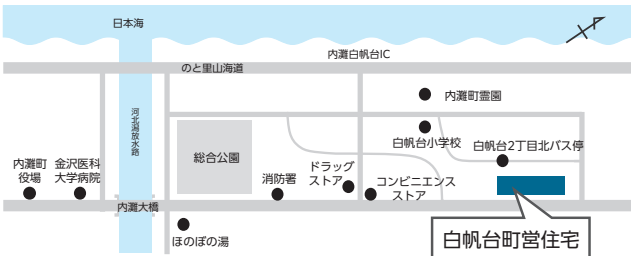
に配慮した、少数単位での販売を行なうように県に要望すべき。

答 再度要望したい。

消防団員用防火衣

問 防火衣の仕様は。

答 耐熱、防電に優れている。ヘルメットも遮熱効果が高い。



福祉・文教 常任委員会

新図書館の調査設計費とは何か 事業手法や複合施設化の検討だ

◎恩道正博 ○土屋克之 夷藤 満
北川悦子 七田満男 西尾雄次

保育所児童の登降園管理に用いるICカードシステムの早期導入を目指す事業費や町民の成人保健検診データを有効活用するシステム整備費の補正予算が審査された。また、新図書館整備のための調査設計委託事業についても審査された。

問 新図書館の調査設計委託料300万円は、既に基本調査を前年度に行なっているが、これは具体的に何に用いるのか。

答 今後の事業手法として、民間の力を借りてやっていくのか、自前でやるのか、また、図書館との複合施設として、どのようなものが適切かなどを検討していると考えている。



保護者のお迎え風景

保育所登降園管理システム

問 ICカードで登降園を管理するシステムの導入時期の見通しはいつか。

答 具体的な時期は言えないが、令和3年度内に順次整備していきたい。

問 ICカードで管理することとは、子どもが登園したら、そのカードでセンサーにタッチし、帰りもそれにタッチして管理することか。

答 そのとおりだが、送迎する人がおじいちゃんやおばあちゃんの場合、カードを持たないことも予想されるので、カードを保育所で管理すればよいのかなども含めて、その管理と運用の方法を検討しているところだ。

検診データの共有化事業

問 成人保健事業費の情報標準化整備事業は、令和4年度から運用を開始するため、国から補助金を受けて改修作業にかかるといだが、具体的にはどういった事業なのか。

答 国が持っている自治体の中間サーパーに個人の検診データを取り込むためのシステム改修だ。そうすることによって、自治体間の転入転出があっても、前住所地での検診データが確認できるようになるものだ。

住民サービス向上と働きやすい職場環境を町長へ提言書を提出

内灘町公共施設管理公社特別委員会

中間報告

特別委員会の設置

令和3年3月5日の全員協議会で、サイクリングターミナル・ほのぼの湯・屋内多目的広場などを指定管理する内灘町公共施設管理公社から、新型コロナウイルスの影響による経営悪化の現状と今後の運営・方向性に関して報告があった。

その後の全員協議会や各委員会においても関連する質疑が多くあり、管理公社の在り方全般に対し、議論を尽くす必要があるとの判断から、令和3年3月16日、特別委員会が設置された。

特別委員会審査の経過

4月13日から8月19日まで、計7回開催された。管理公社理事長や職員からの聞き取りを行なったところ、管理公社の体質を疑問視する多くの意見が出された。そこで3つの項目に分け、議論・審査を重ねた。特に、問題があると指摘された点は左記のとおり。

- ・自動販売機の設置契約に関して、約25年もの間、公社職員（現所長）の親族会社が優先されていた
- ・公社の職員採用や身分、処遇判断が、理事長への伺い・決裁を受けず、所長の判断で行なわれていた
- ・職員アンケート調査の結果、所長から職員へのパワハラ疑いがもたれた

審査を経て

- ◎令和3年3月末をもって、自動販売機の設置契約は解除
- ◎就業規則・内規の見直し
- ◎従業員へのパワハラ疑いに関し、第三者委員会を設置し調査

といった対応が示され、改善に向けた第一歩を踏み出した。

令和3年9月会議で、公平公正で町民から疑念を抱かれることのない運営と、風通しの良い職場環境の構築を願い、また、コロナ禍前の賑わいを取り戻すためにも、これまでの審査を経て12項目に集約した提言について、町は速やかに管理公社に対し適切な指導及び助言を行なうよう求めることが、委員長より報告され、議長を通じ、町へ提言書が提出された。

提言書から主なものを抜粋

- 1 住民サービスの在り方を含む経営改善に関すること
・施設利用者からのアンケート等を参考にサービスの向上を図り、苦情などがあつた場合は、迅速かつ誠意ある対応を行なうべき
- 2 管理公社の体質改善に関すること
・働きやすい職場環境の実現のため、全職員を対象とした、ハラスメントなどの無記名アンケート調査の実施
・職員のパワハラ問題について、早急に第三者委員会において、調査・検証を行ない、事実認定された場合は、厳正なる処分を求めるべき
- 3 運営管理に対する町のかかわりと役員体制に関すること
・理事長や事務局長の責任や役割の明確化や管理公社役員の人選は、いわゆる充て職の多用ではなく、企業経営経験者など広く民間からの起用も検討すべき

特別委員会の今後

第三者委員会の調査結果報告を求めることや提言内容にある諸問題の改善、コロナ後の利用促進など審査は継続していく。

請願の審査・討論

不採択

医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める請願書

○請願者 石川県社会保障推進協議会

○紹介議員 代表委員 松浦 健伸
北川 悦子

要旨

コロナ禍での医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める。

反対

七田 満男

政府は医療機関に対し、総額で8095億円を支援しているが、コロナ患者に対応できるベッド数は4万床で、全体89万床の4.5%でありにも少ない。医療機関への財政支援を拡充すれば、感染症への適正な対応ができるのか。今、最も必要なことは、ワクチン接種の拡大とコロナ患者に対し、適切な医療行為を行なう仕組みを作り、予算をつけることが、医療機関と政府の責任だ。

賛成

北川 悦子

これから冬場に向かい、多くの方が第6波に不安を抱いている。この間、医療従事者の方々の努力によって多くの命が救われた。国の2022年度、概算要求でも、コロナ禍に対する医療、介護などへの支援は不十分。医療機関、介護従事者に対する受診、利用控えへの減収補填や増員には踏み込んでいない。経営安定化を図るため、財政支援の拡充は必要だ。

意見書の審査

可決

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

○提出者 栗藤満 ○賛成議員 清水文雄 恩道正博

要旨

新型コロナウイルス感染症対策、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現、社会保障等への対応のため、地方税財源の充実を求める。

可決

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

○提出者 栗藤満 ○賛成議員 清水文雄 恩道正博

要旨

人道的見地から「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に求める。

可決

核兵器禁止条約への参加を求める意見書

○提出者 栗藤満 ○賛成議員 清水文雄 恩道正博

要旨

我が町は、「内灘闘争」が勃発した歴史があり、核兵器のない「平和な世界の実現」への想いが強い土地柄であり、核兵器禁止条約の立場に立って、核保有国を説得する役割を果たすことを求める。

9月会議で賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	土屋	西尾	米田	磯貝	七田	生田	恩道	北川	栗藤	清水	中川	南
		克之	雄次	一香	幸博	満男	勇人	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
請願第6号	医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める請願書	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	—	×
議会議案第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○
議会議案第6号	核兵器禁止条約への参加を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○

○は賛成、×は反対、—議長は採決に参加しません。

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

災害出動している町職員が 一目で識別できる作業服を

自然災害が多発している。災害時に出動している町職員の作業服は統一化されていないため、一目見て町職員だと識別ができない。災害時に着用する作業服一式を支給すべきだ。

令和2年3月

清水 文雄

答 弁

現在考えていないが、今後検討したい

平成18年度から行財政改革の一環として被服貸与は廃止している。町職員はビブス、腕章、ヘルメットを着用して識別が可能なので貸与は考えていない。ただ、職務の性格から作業服を持たない部署の職員については今後検討したい。

その後

令和2年12月 職員に作業服を貸与

防災訓練や日々の業務等において、町民と町職員が区別できる方法を検討した結果、作業服を貸与した。



職員に貸与された作業服

合葬墓に銘板の取り付けを

2016年に整備された合葬墓は、墓石を建立する必要もなく、霊園管理料も不要のため、費用が抑えられ喜ばれている。墓参りの際、名前を記したものが欲しいという声がある。町でも検討してはどうか。

令和2年3月

北川 悦子

答 弁

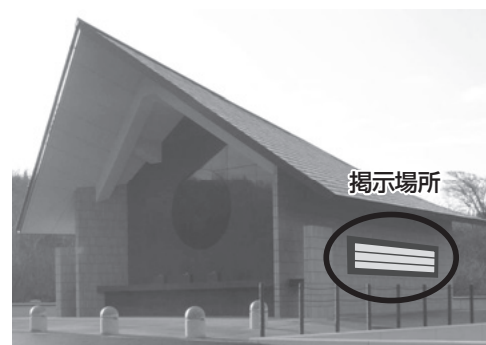
今後、検討したい。

「墓参りのときに故人が埋葬されているのか分からない」「名前がないのは寂しい」という声があることは承知している。近隣の合葬墓も参考にして、検討したい。

その後

令和3年11月末の完成に向け、 墓碑名札掲示板を設置中

幅7センチ、縦30センチの黒御影石に埋葬されている方の氏名と死亡年月日を刻字した名札を掲示します。使用料は1体につき3万5000円。



イメージ図

一般質問 (9月9日)

市政も問う

6人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

しみず ふみお 清水 文雄 12

- ・入札制度を変更する考えはないか
- ・役場リサイクルステーションを移設させる考えはないか

つちや かつゆき 土屋 克之 13

- ・貸与型奨学金の返済支援制度の導入について
- ・防水機能付きドローンの導入について

いとう みつる 夷藤 満 14

- ・議会で使用していたタブレットパソコンの有効活用について
- ・内灘町風力発電所施設について

ほか1問

にしお ゆうじ 西尾 雄次 15

- ・環境基本計画改訂は町民との協働を念頭に進めよ
- ・公園除草に当たっては地元町会と緊密な連携を図れ

きたがわ えつこ 北川 悦子 16

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種とともに検査を
- ・快適な学校給食共同調理場と、安全なパン給食を

ほか1問

よねだ かずか 米田 一香 17

- ・災害時の備えを問う
 - －災害対策本部設置場所・緊急輸送道路の管理－
- ・福祉指定避難所と災害時の人材確保を問う
 - －要支援者・要配慮者への支援－

ほか1問

質問と答弁の詳細は町ホームページ→議会→議会録画中継→内灘町議会チャンネル (YouTube) をご覧ください。

題字 上野雅子さん (西荒屋)



ダイちゃん・ユウちゃん
3歳 ♂♀不明
津軽錦
宮坂

入札制度を変更する考えはないか

町長 今後、検討する



しみず ふみお
清水 文雄

一般質問

問 隣の金沢市で官製談合事件が起きた。各自治体には、透明性・公平性が求められている。過去5年間で町の競争入札工事件数、最低制限価格で落札された件数、同額のため、くじ引きで落札された件数を聞く。

答 競争入札工事件数は386件。そのうち最低制限価格と同額の入札は39件で、くじ引きによる



より良いもの より安いもの

落札者決定は19件。

問 入札制度の公正公平性を目指し、より適正価格に近づく、※変動型最低制限価格制度へ変更する考えはないか。

答 近隣自治体において官製談合事件が発生したことを受け、変動型などへの入札制度の見直しは、他の自治体の事例などを参考に、今後検討する。



活用に知恵を

リサイクル場の移転

問 本年6月会議での旧消防庁舎南側建物解体のための事業費4600万円は、隣接地でのクスリのアオキの出店とは一切関係がないことを確認したい。

答 民有地での民間の事業計画のため、当該事業に町は関与していない。

問 役場駐車場の狭くなったりリサイクル場を早急

に旧消防庁舎跡地へ移転し、より利便性・安全性を図っていく考えは。

答 役場リサイクルステーションの駐車場は、7台分を新たに確保し、18台が駐車可能。旧消防庁舎とその敷地は現在、除雪車の保管場所や保健センター、商工会等の臨時駐車場に使用しており、移転させる考えは、現在のところない。

※変動型最低制限価格制度

過度な低価格による受注を防止することで、工事の品質の確保と適正価格による受注を図るのが目的で、入札参加者が提示した平均入札額に係数を乗じた額を最低制限価格とする制度。



つちや かつゆき
土屋 克之

貸与型奨学金の返済支援制度を導入せよ

制度の創設と併せ調査検討していく 町長



若者の定住が目的

問 日本学生支援機構の発表によると、返済が必要な貸与型奨学金の利用者は、全国で129万人いる。大学生などの2・7人に1人が利用している。2019年度末の延滞者数は、約32万7000人で、延滞債権額は約5400億円に上る。利用者の負担軽減に向け返済を肩代わりする支援制度があるが、導入する考えはないか。

答 前向きに検討したいと考えている。

問 注目するのは栃木県真岡市^{もおかし}の例だ。1人当たり累計200万円の上限を100万円とくに減額し、その分を貸与型奨学金制度の利用者であつた全ての元学生を対象とするというのはどうか。

答 制度の創設と併せ調査検討していく。

防水機能付きドローン



雨にも負けず、雪にも負けぬ

問 消防本部のドローンは、令和3年6月に導入された。カメラ付きドローンで、熱画像機能により、人や動物、火災などの感知が可能と説明を受けたが、その後、防水機能がないことを知った。雨や雪の多い北陸で、なぜ防水ではないのか。

答 倍以上の価格であり、まずは熱画像機能付きカメラの搭載のみを条件と

した機種を導入し、その後、少しずつ経験と実績を積み有効性を確認した上で、さらなる上位機種への更新を目指す考えだった。

問 近年のゲリラ豪雨による自然災害が多発する中、防水機能のある機種が必要ではないか。

答 令和4年度に導入できないか検討する。



千鳥おばあちゃん

役場庁舎 Wi-Fi 整備は 総務課長 年度内に完了の予定



いとう みる
夷藤 満

一般質問

問 学校の ICT 支援員
答 役場庁舎の Wi-Fi 整備は、いつまでに完了するのか。また、町公共施設等の状況は。

答 現在、1・2 階で使用でき、その他のフロアは年度内を予定している。Wi-Fi 整備済みの公共施設は、全小中学校、公民館 7 力所、体育施設 4 力所等の 21 施設。

問 学校の ICT 支援員を増員する考えは。

答 指導教員は 1 名配置。増員を望むが、全国的に人材が不足しており、国の制度充実に期待したい。

問 議会で使用していたタブレットを有効に活用する考えは。

答 再利用する場合、いくつか問題点があり、その活用策を研究したい。



タブレットを活用した授業風景

風車と避雷塔

問 風車は平成 29 年から停止したままで維持管理費はかかり、解体するにも費用が約 2 億円。今後、町のランドマーク的なオブジェとして活用してはどうか。

例えば、姉妹都市羽幌町がロケ地の一つでもある映画「幸福の黄色いハンカチ」を模し、風車横の避雷塔に黄色いハンカチを飾り付け、オブジェとする発想や考えはないか。

答 現在、風力発電所・避雷塔については、民間譲渡の検討や、国が脱炭素社会の実現を目指すとの方針があったことから補助金の有無など国の動向を注視している。

避雷塔をオブジェとして活用することは、管理上の安全面や景観上の問題など様々な課題があるが、風力発電所の対応方針を検討する中で、調査研究していきたい。



新たなランドマークとしての活用策は

その他の質問

問 65 歳以上の方々の全てをコミュニティバス無料にせよ。

答 利用者の公平性や運行持続性の観点から受益者負担が必要だと考える。



にし お ゆう じ
西尾 雄次

環境基本計画改訂は町民との協働を念頭に進めよ

町民参加の審議会で取り組む 町長

一般質問



町民との協働の計画づくりを

問 世界的に脱炭素化への動きが強まる中で、基本自治体である内灘町の取組は、町民の環境意識の高揚を誘引することなどになると思うが、環境基本計画の策定では町民との協働を念頭に進めよ。また、「環境の時代」の到来に備え、それに対応するための現状の環境セクションの行政組織強化も視野に入れた改訂を行なうべきだ。

答 町では令和2年3月に改訂された石川県環境総合計画に合わせ、町環境基本計画に地球温暖化対策実行計画を統合した改訂を行ないたいと考えている。その策定委員は、地球温暖化対策地域協議会の委員を中心に構成して見直しを進める。環境セクションの行政組織強化は、今後、強化に向けて検討したいと考えている。

公園除草

問 地域の公園に関する地元の区・町会と町行政との関わりには、町づくりに大切な相互連携の鍵の部分がある。町が行なう公園の除草もその実施時期をあらかじめ地元の区・町会に知らせるなどすれば、公園利用者による自発的な除草作業との連携が図られ、相乗効果が期待できる。今後は区・町会との連携をもっと密にすべきだ。

答 地域の公園での除草や清掃は、シルバー人材センター等への委託のほか、町会・公民館・地域住民の方々の協力をいただいて管理している。町の公園除草はシルバー人材センターの人員や天候等で正確な実施時期の周知は困難だが、概ねの実施時期なら周知は可能だ。今後、地域住民のボランティア活動が効果的に活きるよう連携に努めたい。



気持ちよく使える公園に



はまなすちゃん

学校・保育所職員にPCR検査を

教育部長兼学校教育課長 実施の考えはない



きたがわ えつこ
北川 悦子

一般質問

問 家庭内感染が全国的にも増えてきている。

答 4月19人、5月15人、6月6人、7月16人、8月50人、9月は18人。高齢者を除く全ての年代で、7月下旬から増加し、特に8月の20代が15人と最も多い状況となっている。

問 4月からの月別のコロナ感染者数を問う。

答 PCR検査、抗原検査を実施する考えはない。

問 学校、保育所関係者に定期的なPCR検査、抗原検査が必要ではないか。

答 希望された職員への接種については、8月末に完了している。

問 中小学校の教師、学童、保育園の先生のワクチン接種状況を問う。



手洗いでコロナ予防を



冷感ベストを着用

学校給食

問 学校給食共同調理場で働く夏場の暑さは異常である。対策を問う。

答 令和2年度より、氷による冷感ベスト等を着用し、暑さ対策を行なっている。また、日頃から休憩や水分を小まめに補給する対策をとっている。

問 学校給食のパン食は輸入小麦粉か。発がん性があると聞くが、現状は。

答 3人目以上で検討中。

問 義務教育の給食費は無料に。

答 カナダ産とアメリカ産の小麦粉を使用し品質は、国による輸入時の検査、県学校給食会で残留農薬検査を実施し、安全確認を行なっている。安定供給の面からも、外国産小麦粉の使用は妥当と考えている。

その他の質問

問 公共施設周辺や街路樹の落ち葉処理の対策は。

答 指定袋の配布と併せ、適宜、街路樹の剪定作業を行ない管理に努める。



よねだ かず
米田 一香

災害対策本部設置場所の優先順位は 役場庁舎、消防署、文化会館の順 町長

一般質問



第1候補

第2候補

役場がダメならどこ？

問 町災害対策本部は役場または本部長の指定する場所に設置すると要綱に記載があり、災害発生時に役場庁舎に設置が不可能な場合には、消防署や文化会館に設置することが示されている。

災害規模や被災状況により、臨機応変な判断も必要だが、施設規模や機能から優先順位を検討し、町民や関係機関に示しておくべきだ。町の考えは。

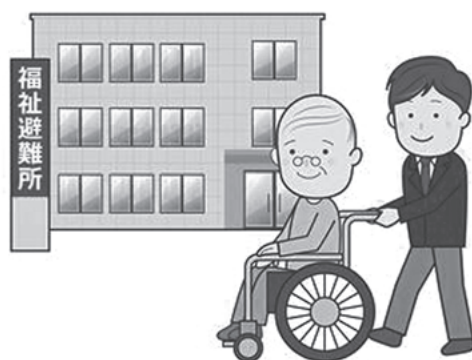
答 災害状況にもよるが、優先順位は役場庁舎と同様の石川県防災情報システムが整備されている消防署を第1候補、文化会館を第2候補と考えている。現在、3カ所ある町内の防災センターは、指定避難所になっており、各地域の防災拠点として活用することになる。

防災に関する情報は町民へ周知し、各地区自主防災組織と共有を図る。

指定福祉避難所

問 令和3年5月、国の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」改定で、**※指定福祉避難所**を最低限小学校区に1つ設ける指針が示された。課題は。

答 現在は4カ所。これまで以上に福祉避難所の重要性が示され、町でも充実を図る必要がある。小学校区では施設が偏る可能性から、町全体でバランスを取る形で検討中。



要配慮者の避難所はどこ？

問 各小学校などの公共施設で、現在の指定避難所に福祉避難所の機能を持たせることも可能だ。町の見解は。

答 併設は施設状況や規模にもよるが検討する。

問 妊産婦対象の福祉避難所指定ができないか。

答 包括連携協定を結ぶ金沢医科大学と協議する。

その他の質問

問 町指定避難所・福祉避難所設置状況と**※石川中央都市圏**オープンデータとの情報の統一を。

答 今後、掲載日や内容の統一性も図れるよう、中央都市圏で協議したい。

※指定福祉避難所

特別な配慮を必要とする方々（高齢者、障害者等）を対象に開設する避難所。

- ・特別養護老人ホーム 夕陽ヶ丘苑
- ・うちなだ福祉作業所
- ・内灘の風
- ・内灘温泉保養館

※石川中央都市圏

金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町の6市町で構成される圏域。圏域全体で住みやすさの向上に取り組み、全ての人が輝き続ける圏域を目指す。



突撃!

街かどインタビュー

寄り添う なかま

町の団体シリーズ⑬

今回は、うつ病や統合失調症等、心の病気を抱えた本人が自由に気軽に話し合う場所を作り続けているヒーリング・コア・とまり木の代表である松金孝佳さん(34歳)にインタビューしました。



◆活動を始めたきっかけは何でしょうか?

○私は25歳の頃に統合失調症と診断されました。抜け出せないトンネルに入ったようでした。お医者さんとぶつかり、自分の病気の状態が分からず、どうしてよいのか本当に毎日が不安でした。

ようやく、その長く暗いトンネルから抜け出せたと感じた29歳の頃、当事者としての経験を活かして、同じよう苦しんでいる方と悩みを分かち合いたいとの思いからです。

◆相談内容で思い出の深いエピソードはありますか?

○全部、新鮮です。お一人お一人の悩みは、全部違います。特に薬のことに不安を持ったり、お医者さんを信頼できなかったりすることを、どう少しでも安心させることができるのか、毎回、真剣に考えています。

◆抱負や目標はありますか?

○NPO法人を立ち上げ、当事者の仲間と共に悩んでいる方が集いやすい相談窓口を広げたいです。

◆町や議会に望むことはありますか?

○福祉相談を一括して相談に応じる「断らない相談窓口」を設置した場合に国が財政支援を行なうと聞きました。ぜひ、内灘町でも計画していただきたいです。

◆その他、何かありますか?

○今度、金沢医科大学で講演予定があります。今から緊張していますが、楽しみでもあります。

◆松金さんの活動内容を紹介します。精神科に病院

されている方、生きづらさを感じている方やその家族からの相談を受け付けています。

- ①ヒーリング・コア・とまり木 第2・4土曜日、14時～16時
内灘町文化会館。
- ②「生きづらさ相談会」第3日曜日、13時～15時
ウエルシア内灘店。

◆地域のみなさんと一緒に「生きづらさ」を語る会 第4水曜日、19時～20時30分 内灘町文化会館では、本人及び家族、福祉・医療・教育関係者と地域住民が集って方向性を検討しています。



◆ありがとうございました。

インタビューー 土屋克之

議会を傍聴しませんか

12月会議の審議日程は、
12月7日(火)～16日(木)です。
一般質問は、**9日(木)・10日(金) 午前10時～**
※質問する議員の人数によって10日は開かれなことがある。
議会事務局 TEL(076)286-6715

感染症対策のため定員は32名です。役場庁舎3階エレベーター横で受け付けしてください。傍聴時はマスク着用・手指消毒・検温にご協力ください。なお、一般質問の様子は、ケーブルテレビでご覧になることができます。⇒39ch



編集後記

本号4ページから5ページにかけての決算紙面には、初めて目にする異様なグラフが掲載された。百年に一度と言われる新型コロナウイルス感染症に關してのものである。コロナ関連経費の最大部分を占めた10万円の特別定額給付金は、本町で給付対象となった2万6506人の99.9%に給付され、その総額は26億6000万円にのぼった。特別定額給付金は国全体で12兆円であったが、国はそれを国債発行(借金)でまかない、市町村に国庫支出金として交付した。このため例年の歳入筆頭項目であった町税を抑えて国庫支出金が歳入の最大部分を占めるに至った。これは1952年の内灘米軍試験場の補償金以来の出来事となった。

(西尾 雄次)

広報対策特別委員会

委員長	土屋 克之
副委員長	北川 悦子
委員	恩道 正博
委員	七田 満男
委員	西尾 雄次